令和5年度上半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	19,175,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、事務室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	12,782	12,271	12,130	11,460	6,691
	移動児童館利用者数	1,695	105	157	0	126
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※9(9)	※2(2)	※5(0)	0	※4(0)
	開館日数(単位:日)	148	144	148	145	89

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画通り実施しました。開館時間を17:15までとし、15分間館内消毒、清掃時間としコロナ対策に努めました。 ②所長(兼務)、常勤職員(児童厚生員2人)、非常勤職員(児童厚生員1人)を配置しました。 ③児童用おたよりは毎月小学校に配布し、幼児用おたよりは保健センター及び公民館もえぎの里に掲示しました。ホームページ、インスタグラムを活用して多くの人スピーディーに行事の案内や、活動内容、活動に活動内容の写真的掲載等、タイムリーで分かりやすくより身近に情報を活用できる手段にて配信しました。当岐阜市社会福祉事業団が管理しているほかの8施設のホームページとリンクを貼り、他館の情報も入手しやすくしました。気象情報発令時による休館などの情報は、迅速にホームページにアップすると同時に行事参加予定者には電話連絡にてお知らせしました。 ④利用者アンケート(幼児の保護者、小中学生)の実施 ご意見箱を設置しました。アンケートの結果は、館内に掲示するとともにホームページに掲載し、迅速に改善できるものは改善して対応に務めました。苦情解決の仕組み・苦情の申出先を館内掲示することで苦情に対し適切に対応できる体制としました。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアル通りに実施しました。 ②館内清掃はトイレを含み毎日実施。週2回就労継続支援B型事業所によりさらに徹底した清掃、その他業者によるカーペット、窓等の清掃を実施しました。新型コロナウイルス感染症防止対策として、利用者の少ない昼休み、閉館後には噴霧器による消毒を行いました。細かい玩具や、本等はオゾン保管庫に入れてました。部屋の窓は常に開けるとともに、空気清浄機を使用して、換気対策をしました。 ③使用していない部屋の消灯、利用時間前のエアコンはオフとし、利用者が来館中は、適正室温の設定をして、節電と節水を実施、また工作には廃材を利用し、環境に配慮した施設運営を心掛けました。 ④月1回の職員による施設の安全点検をして、危険な箇所はないかチェックします。玩具は、片付けや消毒の際に点検して、直せるものは職員が修繕し、直らないものはおもちゃ病院に依頼します。乳幼児が触れても安全であるように細心の注意を払います。その他、AED器具の点検を月2回行っています。

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。利用者の安全性が確保できないものは、安全が確保されるまで利用中止としました。軽微で予算内で対応可能なものは直ちに業者へ修理を依頼しました。破損した玩具は、職員で修理可能のものは職員で修理し、修理不能のものは、「おもちゃ病院」の協力を得て修理して頂きました。 ②今年度、大雨の際に、裏口の軒天が落下したため、岐阜市に依頼して、修繕してもらいました。修繕後も他にも危険箇所がないかを確認し、まだ多くの箇所に同様の危険箇所があることを確認して市役所の担当者に依頼しました。建物が古いため、常時点検をして、危険がないか確認しています。
危機管理法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対策マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し、適切に実施しました。災害や事故などが発生した場合は岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。個人情報記載された用紙はすべてシュレッダー処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。また、7月には消防訓練を消防署に立ち合いの元、避難訓練を実施して避難の仕方について指導を仰ぎました。消防車をすぐ近くで実際に見せることも出来ました。実際に水消火器を使用し、消火器の使い方も学ぶことが出来ました。放課後児童クラブと併設する老人センターと合同で実施しました。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年7月4日～令和5年7月21日 回答者数: 50人 <小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年7月21日～令和5年8月19日 回答者数: 50人(小学: 1年4人、2年6人、3年12人、4年10人、5年7人、6年6人) (中学: 1年4人、2年0人、3年0人)(高校: 1年1人、2年0人、3年0人)
利用者アンケートの実施結果	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 【校区】 柳津(20人)、茜部(11人)、鶯(4人)、鏡島(2人)、厚見(2人)、その他市内(5人)、その他市外(6人) 【年齢】 10代(0%)、20代(16%)、30代(68%)、40代(14%)、50代以上(2%) 【利用頻度】 初めて(6%)、ほぼ毎日(0%)、週2～3回(6%)、週1回(40%)、2週に1回(36%)、月1回(6%)、その他(6%) 【来館相手】 子(98%)、孫(2%)、友人(0%)、その他(0%) 【子・孫の年齢】 0歳(27%)、1歳(39%)、2歳(30%)、3歳以上(4%) 【来館方法】 徒歩(4%)、自転車(0%)、自家用車(96%)、公共交通機関(0%)、その他(0%) 【何で知った】 ホームページ(55%)、広報紙・チラシ(9%)、学校(0%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(18%)、ぎふ子育て応援アプリ(13%)、ソーシャルメディア(0%)、その他(5%) 【評価】 (あいさつ) 満足(96%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい) 満足(98%)、ほぼ満足(2%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応) 満足(96%)、ほぼ満足(0%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ) 満足(76%)、ほぼ満足(18%)、普通(6%)、やや不満(0%)、不満(0%) (整理整頓) 満足(86%)、ほぼ満足(10%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%) (清潔感) 満足(84%)、ほぼ満足(10%)、普通(4%)、やや不満(2%)、不満(0%) (換気) 満足(86%)、ほぼ満足(14%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%) <小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 柳津小(44人)、境川中(4人)、その他市内(2人) 【学年】 小学: 1年(8%)、2年(12%)、3年(24%)、4年(20%)、5年(14%)、6年(12%) 中学: 1年(8%)、2年(0%)、3年(0%) 高校: 1年(2%)、2年(0%)、3年(0%) 【利用頻度】 初めて(4%)、毎日(14%)、週4・5回(8%)、週2・3回(28%)、週1回(26%)、その他(20%) 【来館相手】 ひとり(10%)、友人(59%)、兄弟姉妹(2%)、父母(29%)、祖父母(0%)、親戚(0%)、その他(0%) 【来館方法】 徒歩(8%)、自転車(62%)、自家用車(30%)、バス・電車(0%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(23%)、ボードゲーム(13%)、カラム(12%)、パドミントン(9%)、フラフープ(9%)、マンカラ(9%)、皿回し(7%)、卓球(6%)、その他(12%)

利用者からの
要望・苦情と
対応・改善

<保護者>

○行事の予定(講座など)をHPから見やすくして頂けるとうれしい
(回答)インスタグラムを始めました。インスタグラムにてご確認ください。
○動き始める前の0歳児向けのイベントがあればうれしかったです。(歩いたり、走ったりしているお友達の中で遊戯室であそぶのは難しいので)
(回答)0歳児はエンジェルタイムを月に1回行っておりますので、ご利用ください。その他にも0歳児を対象とした講座もあります。「英語で遊ぼう」「バランスボール」などご利用頂ける月齢を設定しているものもあります。是非ご利用ください。
○幼児室のたたみが服につくのが困ります。(多数)
(回答)申し訳ありません。市の方に依頼します。
○幼児室のエアコンの効きがすごく悪いので暑いです。幼児室にエアコンをつけてほしい。
(回答)市の方と検討して対処してまいります。
○講座の数が増えたのはうれしいのですが、定員をもう少し増やしていただけたら、たくさんの方が参加できるな~と思います。
(回答)応募人数を見ながら、増やしていこうと思っています。しかし、あまり多くても、駐車場が一杯になったり、お部屋の広さの問題もあり多く入っても危なかったりしますので、ある程度の人数制限はさせてもらいながら状況に応じて増やしていきます。
○たまに混雑すぎてお部屋に入れないことがある点が少し気になります。柳津地区の人“優先”などの制度があったらうれしいですが難しいですね。
(回答)申し訳ないですが、岐阜市内の方の利用の場であり、地区限定はむづかしいです。
○情報のインスタ投稿をたくさんしていただきたいです。
(回答)わかりました。インスタ投稿頑張ってください。

<児童>

○小学生も幼児室であそびたい。
回答 幼児室は赤ちゃんや小さい子のお部屋なので、大きい子が入ると危ないので入れないようにしています。
○もっと工作がいっぱいあったらいい。
回答 どんなものが作りたいのか、教えてください。
○いろんな経験が積めてよかった。
回答 ありがとうございます。これからも楽しい経験をたくさん積みましよう。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S
		区分評価				S
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				S
		効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A
⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)			A	A	A
区分評価				A		
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

□広範で適切な情報提供・広報活動の実施(情報公開・広報の方策②)

・Instagramの活用

今年度より新たにタブレットを活用して、Instagramを始めました。Instagramを使うことで、ホームページだけではなく、行事の案内や、おたより、行事後の活動内容をよりスピーディーにより多くの人にお伝えすることが出来るようになりました。

・ホームページ更新

行事の案内をわかりやすくするために、活動内容の写真や作品を掲載しています。また、講座やクラブの募集、抽選結果を掲載しています。さらに定員に満たしていない講座やクラブの募集についても再度掲載することで、利用に繋がりました。

・おたより配布

小学校、公民館、もえぎの里、保健所に配布して、多くの人に利用して頂けるようにしました。

・「学びの広場」のチラシ

具体的な内容を記したチラシを作成し、高校生に挿絵をしてもらい、自治会の広報と一緒に回覧してもらいました。

・直接声掛け

定員を満たしていない講座やイベント、また当日キャンセルで空きがある講座やイベントに直接声掛けして参加してもらっています。

□業務の改善や工夫(効果性③)

・「クラフト」

幼児クラブの活動の中で行うクラフトやイベントとして行う季節感のある工作は、いつも好評です。季節にあったものを職員がSNSで常に新しく人気のある投稿から情報を収集して活用しています。いつも工夫を凝らしたクラフトはとても喜ばれています。その中でも「足形DEお花アート」は、足形にお花のモチーフで装飾したもので、0歳児の記念となると大好評でした。

・「夏休みのぞうさん広場」

昨年夏休みの土曜日に行ったことが、好評でしたので、今年度も実施しました。お父さんの参加も多くありました。家族3人で楽しまれている姿も見られました。人気のある足形アートを使ったことも好評の要因でした。ビーチサンダルにアレンジしたものを製作してもらいました。ぞうさんクラブは通常20名ほどの参加ですが、夏休みの土曜日に行ったことで30名の参加がありました。

・「幼稚園の先生と遊ぼう」

幼稚園から大型遊具を持ってきてもらい、いつも出来ない遊びを体験することができ喜ばれました。

・幼児クラブ、講座の定員を5類移行後は10人から12人とし利用増に繋がりました。その結果、60名程多い利用に繋がりました。

□新規事業(行事)の実施(効果性③)

・地元ボランティアによる「おはなしラッパ」さんの読み聞かせ

絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居、パネルシアター、手遊び等を毎月乳幼児対象に行っています。自由参加で、来館した乳幼児が参加しています。初めは、たまたま来館して参加した乳幼児とその母親が、定着して参加してくれるようになりました。読み聞かせは母親たちに興味があり定着してきました。夏休みには小学生対象としても行ってもらいましたが、絵本の読み聞かせだけでなく、話の間に簡単なゲームが入って、気分転換となり次のお話に集中して子どもたちは聞いていました。ゲームの後は、本は使わずに、言葉と体で表現したお話でした。子どもたちは、知っているお話ではあったのですが、引き込まれて、お話のあと、そのフレーズを口にするなどかなりインパクトがあったようでした。

・「英語で遊ぼう」「ALL Englishを楽しもう」

外国人講師による「英語で遊ぼう」は、今年度から2か月に1回実施しています。月ごとに、0歳児、1歳児、2歳児とクラス分けをしています。毎回定員を超える応募があるほど大好評です。

「ALL Englishを楽しもう」も外国人講師による講座で、英語の講座は人気があるので、8月より新たに未就園児対象に実施しました。

乳幼児の母親は、月齢の低いうちから外国人講師に触れ合い、英語を聞かせるということに大変興味を持たれ毎回応募者が多数で抽選する状態で大好評です。

・「バランスボール」の小学生体験

乳幼児、その保護者で行っているバランスボールを小学生にも体験してもらおうと夏休みに実施しました。なかなか体験できないものなので、参加した児童は大変喜びました。

・「学びの広場」

昨年度は夏休みのみ実施していましたが、今年度より春休みにも実施しました。春休みはまだ宿題も出ていない状況でありましたが、その児童に合わせた課題を羽島北高校の生徒が提供してくれました。集中して学習するということを得る機会にもなったようです。

・「ミニなまつり」(幼児対象)

小学生が行った「おまつり」の幼児向けのおまつりを行いました。今回「夏まつり」を小学生に限定したため、幼児の参加は出来なかったため、急遽、行いました。

・「絵本の紹介コーナー」

柳津図書館で団体利用カードを作り、本を借りて、絵本の紹介コーナーを作りました。絵本の紹介と、親子での読み聞かせをってもらうことを目的としています。紹介した絵本を手にとって、親子で読み聞かせをしている姿も見られています。

□移動児童館の実施(効果性⑤)

9回実施(昨年度3回)

柳津どんとこいこいまつり(382名参加)

柳津小ファミリーウオーク(1,075名参加)新規(各1回)

きらめき広場2回(柳津小学校放課後子ども教室)(123名参加)

児童クラブ4回(151名参加)

柳津青少年育成会議主催 やないづ親子ふれあい教室(新規)9名参加

□利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施(効果性⑤)

・多くの利用者の方より「おもちゃの数が多く種類も多い」とよく言われています。常に人気のありそうなおもちゃを中心に種類も多く、飽きないように定期的に入れ替えたり、新しいものを購入して、充実を図っています。また、新しいゲームが入ると児童と一緒にいき、ルールの確認をしながら紹介しました。

・「クラフト」(再掲)

幼児クラブの活動の中で行うクラフトやイベントとして行う季節感のある工作は、いつも好評です。季節にあったものを職員がSNSで常に新しく人気のある投稿から情報を収集して活用しています。いつも工夫を凝らしたクラフトはとても喜ばれています。その中でも「足形DEお花アート」は、足形にお花のモチーフで装飾したもので、0歳児の記念となると大好評でした。

□利用促進や利用増に繋がる方策の実施(効果性⑥)

・Instagramの活用(再掲)

今年度より新たにタブレットを活用して、Instagramを始めました。Instagramを使うことで、ホームページだけではなく、行事の案内や、おたより、行事後の活動内容をよりスピーディーにより多くの人にお伝えすることが出来るようになりました。

今期の取組み
に対する評価

ました。

・「夏休みのぞうさん広場」(再掲)

昨年夏休みの土曜日に行ったことが、好評でしたので、今年度も実施しました。お父さんの参加も多くありました。親子3名で「足形アート」を製作される人もみえて、楽しい時間を過ごされました。ぞうさんクラブは通常20名ほどの参加ですが、30名の参加がありました。

・地元ボランティアによるおはなしラッパ」さんの読み聞かせ(再掲)

絵本の読み聞かせだけでなく、紙芝居、パネルシアター、手遊び等を毎月乳幼児対象に行っています。自由参加で、来館した乳幼児が参加しています。初めは、たまたま来館して参加した乳幼児とその母親が、定着して参加してくれるようになりました。読み聞かせは母親たちには興味があり定着してきました。夏休みには小学生対象としても行ってもらいましたが、絵本の読み聞かせだけでなく、話の間に簡単なゲームが入って、気分転換となり次のお話に集中して子どもたちは聞いていました。ゲームの後は、本は使わずに、言葉と体で表現したお話でした。子どもたちは、知っているお話ではあったのですが、引き込まれて、お話のあと、そのフレーズを口にするなどかなりインパクトがあったようでした。

・「英語で遊ぼう」「ALL Englishを楽しもう」(再掲)

外国人講師による「英語で遊ぼう」は、今年度から2か月に1回実施しています。月ごとに、0歳児、1歳児、2歳児とクラス分けをしています。毎回定員を超える応募があるほど好評です。

「ALL Englishを楽しもう」も外国人講師による講座で、英語の講座は人気があるので、8月より新たに未就園児対象に実施しました。

乳幼児の母親は、月齢の低いうちから外国人講師に触れ合い、英語を聞かせるということに大変興味を持たれ毎回応募者が多数で抽選する状態で好評です。

・「ベビーマッサージ」

昨年度末に実施して好評であったため、今年度からエンジェルタイム(0歳児)に取り入れました。ベビーマッサージ後の講師への質問時間も好評で前回は質問が多く時間がかなり延長してしまったので、今回より質問内容を事前に記入してもらうことで時間が延長する事を防ぎました。子育ての不安を軽減することに繋がりました。

□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭)

・「学びの広場(学習支援)」

地元ボランティア、主任児童委員、羽島北高校の学生により、春休みと夏休みに行いました。高校生は8人程度で、それぞれの生徒が、1対1で10数名の児童に合わせた学習プランにて教えてくれます。1時間集中して良い雰囲気の中で学習が行われています。

・「柳津町どんとこいこいまつり」

コロナで3年間中止であったため、4年ぶりに参加しました。小学生はもちろん、乳幼児やその保護者を対象に多くの方にありがみと紙ストローを使ったこいのぼりのクラフトを楽しんでもらいました。(参加人数:幼児137名、小学生63名、保護者182名 合計 382名)

・「柳津小学校ファミリーウオーク」

初めて参加して、クイズを出題しました。多くの児童、家族が参加してくれました。児童館のPRにも繋がりました。(参加人数:幼児100名、小学生522名、保護者453名 合計1,075名)

・「それいけぐんぐんたい！」

岐阜聖徳学園大学教育学部の学生に万華鏡作りを教えてもらいました。参加した児童は大学生との交流に楽しんでいました。

・「夏まつりのスタッフ会議」と「夏まつり」

ボランティアとして、羽島北高校の生徒、岐阜聖徳学園大学の看護学部、教育学部の学生にきてもらいお手伝いしてもらいました。どの生徒、学生も一生懸命取り組み、「夏まつり」を盛り上げてくれました。

・老人センターの利用者と児童館の利用者との交流

児童や幼児を連れて母親が玄関ですれ違う際に職員が間に入って、交流が出来るようにしています。

□地元の法人とその他の団体の育成、又は地元住民、高齢者、障がい者等の活用(貢献性⑭)

・「合同フラダンスの発表会」

老人センターのフラダンスの受講者を実施しました。日頃の成果を発表する場の提供になりました。同じフラダンスというものを通して楽しく交流を図ることも繋がりました。

・老人センターの囲碁の利用者に囲碁を教えてもらいました。

碁石の持ち方から丁寧に指導受け、伝統遊びの継承と交流になりました。

・「天保宮下太鼓の太鼓の体験教室」

伝統芸能である和太鼓の体験教室を夏休みに行いました。公民館での発表会に天保宮下太鼓の一員として参加することができました。また、練習を老人センターのホールで行っているため、老人センターの利用者が練習を見学をしていきます。高齢者にとり小学生の頑張っている姿や太鼓の音に元気をもらえと言われました。児童にとっても、練習の成果を披露することで練習にもより緊張感が持たれていい刺激になりました。

□地元の復興、活性化などに貢献できる社会活動への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮)

・「柳津町どんとこいこいまつり」(再掲)

コロナで3年間中止であったため、4年ぶりに参加しました。小学生はもちろん、乳幼児やその保護者を対象に多くの方にありがみと紙ストローを使ったこいのぼりのクラフトを楽しんでもらいました。(参加人数:幼児137名、小学生63名、保護者182名 合計 382名)

・「柳津小学校ファミリーウオーク」(再掲)

初めて参加して、クイズを出題しました。多くの児童、家族が参加してくれました。児童館のPRにも繋がりました。(参加人数:幼児100名、小学生522名、保護者453名 合計1,075名)

・「天保宮下太鼓の太鼓の体験教室」(再掲)

伝統芸能である和太鼓の体験教室を夏休みに行いました。公民館での発表会に天保宮下太鼓の一員として参加することができました。また、練習を老人センターのホールで行っているため、老人センターの利用者が練習を見学をしていきます。高齢者にとり小学生の頑張っている姿や太鼓の音に元気をもらえと言われました。児童にとっても、練習の成果を披露することで練習にもより緊張感が持たれていい刺激になりました。

・アダプトプログラムへの参加

毎月1日の就業前に、児童館周辺の道路の清掃活動を行っています。

□地元の団体・住民との協同事業等の実施(貢献性⑮)

・岐阜市社会福祉協議会主催の地域の「キーパーソンとの交流事業」に参加して、児童館の地域への役割を伝え、活動のPRをしてきました。

・青少年育成市民会議から依頼を受けて、今年度より親子ふれあい教室を行いました。

前回までの意見を踏まえた取組み状況	☐ 利用者のニーズ把握に積極的に努めていることがうかがえる点が評価できる。 今期においては、乳幼児の母親のニーズが高い外国人講師による英語を使った講座「英語で遊ぼう」「ALL Englishを楽しもう」や、読み聞かせの重要性に応えるべく「おはなしラッパ」さんの読み聞かせを行いました。どれも母親たちの要望の高いものを行うことが出来て大変良かったです。また、クラフトについても季節感ある作品は人気があります。幼児クラブで行うものや、イベントの中で行うクラフトは、子供の成長に合わせた手形、足形を使った作品で、SNSで人気のある最新のものを取り入れているので記念になるとよく言われ好評でした。 ☐ 大学生だけでなく、高校生も学習支援にあたっているのは大いに評価できる。 高校生の学習支援は、今年度も継続しています。夏休みだけでなく春休みも行いました。児童一人ひとりにあった課題を提供して取り組ませてくれます。とてもよい雰囲気の中で学習が行われています。また、学習支援だけでなく、夏まつりにも、大学生、高校生も協力して盛り上げて頂きました。
今後の取組み	☐ 乳幼児の午後の利用が少ないので、午後の利用ができるようなものを考えていきます。 ☐ 虐待が疑われる幼児、児童に対して保健センター、エールと連携を図っていきます。虐待事例はありませんでしたが、引き続き虐待を見逃すことなく、目を配り、悩んでいる母親がいれば、寄り添い、虐待に繋がらないように見守りアドバイスをしていきます。

●所管課の意見

- 地元のボランティアによる読み聞かせを実施したり、図書館から絵本を借りて絵本コーナーを整備したりするなど、新規事業の実施に努めている。
- 昨年実施して好評であった事業を今年度も積極的に取り入れたりするなど、利用者増につながる取組みを行っている。
- 地元の高校と連携して学習支援を実施したり、地元のお祭りに参加したりするなど、地元の各種団体等と連携して事業を実施している。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。夏まつりの実施や和太鼓という伝統芸能を守っていくという姿勢が評価できる。地域とのつながりを大切に、今後も継続していただきたい。